

Y! mobile & Kohara RT

2015 MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第2戦
九州モーターサイクルフェスタ2015 in オートポリス
大分県・オートポリス(1周=4.674km)
 ■大久保 光 ST600 予選:12番手 (タイム:1分56秒101) 決勝:7位
 ■伊藤 和輝 ST600 予選:DQ (タイム:NO TIME) 決勝:18位
 ■岡崎 静夏 J-GP3 予選:12番手 (タイム:1分59秒723) 決勝:14位
 天候: 2015年 4月25日(土) 晴れ コース:ドライ
 4月26日(日) 晴れ コース:ドライ
 観客動員数:1万6562人 (2日間合計)



- | | |
|-----------|---|
| 39 | 大久保 光 Hikari Okubo
class : ST600
machine : Honda CBR600RR |
| 40 | 伊藤 和輝 Kazuki Itoh
class : ST600
machine : Honda CBR600RR |
| 22 | 岡崎 静夏 Shizuka Okazaki
class : J-GP3
machine : Honda NSF250R |

大久保が新加入しST600にエントリー!

2015年シーズンのY!mobile & Kohara RTは、J-GP3クラスのトップライダーとして活躍してきた大久保光が新加入し、ST600クラスに参戦。全日本2年目を迎える伊藤和輝もST600クラスにスイッチ。そして女性ライダーの岡崎静夏が今年もJ-GP3クラスに参戦する。

2010年に全日本J-GP3クラスのチャンピオンを獲得し、2012年にはアジアドリームカップでチャンピオンを獲っている大久保だが、ST600クラスのレースは今回が初めて。「パワーがあつておもしろい」と手応えを感じていたが、今年よりST600クラスはブリヂストンタイヤのワンメイクとなり、予選・決勝を通じてタイヤ1セット(決勝日朝のウォームアップ走行は除く)というレギュレーション。ルーキーにとっては不利な状況と言つても過言ではない。そんな中、大久保も伊藤もセッション毎にタイムを上げ、マシンに慣れていった。



ST600クラスの公式予選は、35分間1セッションで行われたが、予選・決勝で1セットというレギュレーションだけに、各ライダーは、タイヤを決勝に向けて温存するためにコースインのタイミングを見て限られた周回でタイムアタックに臨んだ。大久保と伊藤もセッションが開始されても、すぐにコースインせずラップ



Y! mobile & Kohara RT

〒336-0977 埼玉県さいたま市緑区上野田607-1
TEL.048-878-7020 FAX.048-878-5688

モニターを見つめる。そして伊藤がまずピットアウトする。しかし、マシントラブルが発生してしまう。必死に原因を探るがセッションに間に合わずノータイムとなってしまう。一方、大久保は、自己ベストを更新し12番手につけた。J-GP3クラスの岡崎も12番手と自己最高グリッドを確保。決勝に向けて、いい流れをつかんでいた。



金曜日から決勝日まで好天に恵まれた今回のレースウイーク。山間部にあるオートポリスでは珍しいことだ。絶好のレース日和の中、行われた決勝レース。伊藤は、嘆願書でピットスタートとなり、レースに出場できることになり、朝のウォームアップ走行から気持ちを入れ替えマシンの状態を見る。

この日、最初に行われたJ-GP3クラスの決勝。岡崎は、8台の集団となったサードグループで抜きつ抜かれつのバトルを展開。最終ラップには11番手で入って行ったが、3台に抜かれてしまい14位でゴール。悔しい終わり方となったが、しっかりバトルをしてポイントも獲れただけにライダーとして成長したところを見せてくれた。



ST600クラスの大久保も5台による5位争いを展開。実績のあるライダーに混じり自己ベストをレースで更新する走りを披露。Honda CBR600RRで最高位となる7位でフィニッシュし、次戦以降での可能性を感じさせた。伊藤は、ピットスタートから追い上げ18位でフィニッシュ。貴重な3ポイントを獲得した。



大久保 光コメント

「結果的には悔しいリザルトですが、ウイークの流れは決して悪くなかったです。レースは5台の集団になりましたが、抜きつ抜かれつのバトルができてシングルフィニッシュできましたし、ST600クラスの経験値が上げられたと思います。最後に集団のトップでゴールしたかったのですが、それができなかつたことは反省点です。次回のツインリンクもてぎは、ホームコースなので事前テストから、しっかりマシンを仕上げてトップ争いができるようになさるですね」

伊藤 和輝コメント

「ST600への乗り換えは、まずはで、事前テストは調子よく走ることができました。その調子でレースウイークも走りましたが、同じような走りができず遅れてしまいました。予選ではトラブルが出てしまいピットスタートとなりましたが納得いく走りができませんでした。次戦ツインリンクもてぎは、走り慣れているコースなので、しっかり走ってシングルフィニッシュします!」

岡崎 静夏コメント

「金曜日は調子が今ひとつでマシンセットに集中していたので順位は悪かったのですが、公式予選ではマシンのフィーリングもよく12番手と自己最高グリッドにつけられました。決勝は、もっと前で走りましたが、集団の中でもブレーキングで前にいけましたし、しっかり勝負できました。最終ラップに3台に抜かれてしまったことは反省点ですが、次回に生かしたいです。去年は「ポイントを獲ること」を目標の一つにしていましたが、今年は、普通にポイントを獲れましたし、ライダーとして成長できていると思います。これも小原監督を始め多くのアドバイスのおかげです」

小原 齊 監督コメント

「ST600クラスの大久保と伊藤は、今回が2人ともJ-GP3クラスからスイッチした初戦となりましたが、ますますの順応性を見せてくれました。予選で伊藤のマシンに予想外のトラブルが出てしまったことは残念でしたが、ピットスタートから追い上げてポイントを獲れましたし、大久保も集団の中で、しっかりバトルをしていましたし、まだまだノビしきがありそうですね。岡崎は、今年でウチに来て5年目ですが、ようやく全日本ライダーと呼べる走りができるようになってきました。今回の走りをしていれば表彰台を狙える可能性も出てくると思います。次戦以降に期待したいです」